

令和元年度 セルフモニタリング報告書

令和2年 4月 30日

施設名 勇払マリーナ
 指定管理者名 株式会社ベルポート北海道
 所管課名 苫小牧港管理組合 総務部 港湾政策室 業務経営課

| モニタリング項目 | 指定管理者コメント | 自己評価 |
|---|---|-------------|
| 1 事業計画の達成度 | | |
| 事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。 | 事業計画に従い、管理運営方針をつくり具体的な目標を掲げて取組み、概ね適切に施設の管理運営が行われた。 | A (B) C D E |
| 利用者の増加、利用率の上昇、利便性の向上などの目標は達成されたか。 | 年間保管契約数 H30年度173隻 令和1年度168隻 -5隻3%減 利用率について 出帰港定数3018回 3%減。年間保管契約数の減少は、利用者の高齢化が原因と思われる。 | A B C (D) E |
| 自主事業は計画どおり行われたか。 | 免許教室、船検代行、船舶修理事業、レンタルボート、マリン商品販売、燃料販売、商品販売、役務収入、自販機設置、キャンピングカーを行いほぼ計画どおり行われている。 | A B (C) D E |
| 地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われたか。 | 7/28トリアスロン大会(苫小牧トリアスロン協会主催)、8/6勇払納涼祭(日本製紙(株)北海道工場勇払事業所主催 牡蠣・ホタテ等を炭焼きで提供する店を出店) | (A) B C D E |
| 2 利用者の満足度 | | |
| 利用者の満足が得られているか。 | 施設利用者に勇払マリーナ利用に関するアンケート調査を行った。施設の利用について 満足以上が、63% 普通が、30% やや不満が、7%である。普通以上が、93%である。 | A (B) C D E |
| 利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。 | 施設利用者に郵送でアンケート調査を行ったり、またBヤードハウス内に意見・要望等を投函できる意見箱を設置し、利用者の意見を把握。意見のハード面は適宜管理組合へ報告、修繕等を依頼し、利用者のマナーに関する意見は封書等でルールの再確認をしてもらうよう通知している。 | A (B) C D E |
| 利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。 | ソフト面においては、アンケート結果から十分に行われていると思われる。ハード面においては、苫小牧港管理組合が、震災被害や老朽化など復旧および修繕等して頂いている。 | A (B) C D E |
| 3 管理運営の効率性 | | |
| 経費の低減が図られているかまた、その取組は十分か。 | 需用費について経費の低減に努めました。平成30年度と比較して平成30年度は、需用費合計8,306千円 令和1年度は、7,433千円となっています。 | A (B) C D E |
| 収入増加のための取組はされているか。 | 新規利用者の加入を促進するため関係機関へのPR活動、また自主事業の実施などにより力を入れて収入増加の取組を行っている。事例として、免許教室のPRの為の新聞広告や、声掛けによる船の燃料販売に力を入れた。 | A (B) C D E |
| 一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。 | 再委託として防火設備点検、電気設備点検、フォークリフト及びタイヤショベル自主特定点検、給油地下タンク気密法定点検、館内床清掃、上下架設備、汚泥抜き取り等があり、事業計画書に記載されている内容で実施。その支出経費は最少に抑えている。 | A (B) C D E |
| 4 適正な管理運営 | | |
| 人員配置及び職員の管理体制は適正か。 | 人員配置及び職員の管理体制は、適正に行われている。 | A (B) C D E |
| 職員の能力向上に向けた取組は行われたか。(研修等) | 自走式クレーン運転研修会、フォークリフト運転研修会、普通救命講習、2級船舶講習会、安全講習会、1級船舶講習会、自衛消防訓練及び随時にタイヤショベル運転研修や棧橋保守点検研修などを行っている。 | A (B) C D E |
| 施設の平等な利用等について、適切に処理されているか。(使用料の減免、還付含む) | 施設利用は、会員及びビジターとも平等な待遇を行っている。また、使用料の減免等は行っていない。 | A (B) C D E |
| 利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。 | 利用者等の個人情報管理及び鍵の管理については適正に保管及び管理している。 | (適正) 要改善 |
| 収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。 | 会計処理については、会計ソフトを本社と共有しマリーナ事業所で決裁後、本社でも決裁を行っており2重チェックで不正な経理を防止している。 | (適正) 要改善 |
| 施設・設備等の法定点検及び保守は適正に行われているか。 | 法定点検は、消防設備点検、電気設備点検、船舶(管理艇)の定期検査を実施。 | (適正) 要改善 |
| 書類・備品等の管理は適正に行われているか。 | 関係書類は適性に管理しており、また備品についても適性に管理している。 | (適正) 要改善 |

| 4 適正な管理運営 | | |
|---------------------------------|---|--------------------|
| 安全対策（事故防止等）は十分か。 | 日常として安全対策のため自衛訓練、普通救命講習 また安全講習会の実施や、事故防止のための作業マニュアルにより徹底している。 | A・ B ・C・D・E |
| 法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。 | 必要な関係法令・協定書等を洗い出し、その都度確認をしながら管理をしている。 | 適正 要改善 |
| 管理組合と指定管理者との間で十分に連絡、連携が図られているか。 | 指定管理者からその都度事故やイベント時の届出等の報告が行われており、また必要に応じて打合せを行っており管理者と連絡・連携が図られている。 | A・ B ・C・D・E |
| 5 地域貢献 | | |
| 雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。 | 職員雇用については、採用条件もあり他市在住者を雇用している。現在は募集の際、市内在住者に向け募集をかけている。資材調達について常に低廉な価格の物を購入に努めている。地域貢献としてイベントの開催で、各団体等の釣り大会、トライアスロン大会の後援等に協力している。勇払商工振興会の一員である。 | A ・B・C・D・E |

| | |
|---|---|
| A | 目標、事業計画を大幅に上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。 |
| B | 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。 |
| C | 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。 |
| D | 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、管理運営において一部不適切な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。 |
| E | 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において、改善が必要である。 |

総合評価 A・**B**・C・D・E (該当するものに○)

指定管理者の自己評価（全体を通して）

施設管理運営業務、利用者の意見・要望・苦情対応等、事業計画通り行えている。